



2026年10月28日

各 位

会 社 名 株式会社ユアテック
代表者名 取締役社長 社長執行役員 小林 郁見
(コード：1934 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員総務部長 伊藤 英一
経理部長 堀籠 昌広
(TEL：022-296-2111)

**業績予想の修正および配当予想の修正（増配）
ならびに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2027年3月期の業績予想の修正および配当予想の修正（増配）ならびに剰余金の配当（中間配当）を、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2027年3月期通期連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	273,000	18,900	19,500	13,200	192.20
今回修正予想（B）	284,000	22,100	23,200	14,300	209.68
増減額（B－A）	11,000	3,200	3,700	1,100	
増減率（％）	4.0	16.9	19.0	8.3	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	252,262	18,038	18,901	10,325	150.34

2027年3月期通期個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	238,000	17,000	18,500	12,800	186.37
今回修正予想（B）	246,000	20,000	21,500	13,300	195.01
増減額（B－A）	8,000	3,000	3,000	500	
増減率（％）	3.4	17.6	16.2	3.9	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	227,891	16,650	18,051	8,361	121.74

（注）今回修正予想の1株当たり当期純利益につきましては、本日公表いたしました「自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ」に係る影響を考慮しております。

（修正の理由）

通期個別業績予想につきましては、豊富な手持工事量に加え、人件費・外注費などのコスト上昇分が適正に工事価格へ反映されるよう努めたことや、原価管理の徹底による工事採算性の向上により、売上高、各利益とも前回発表予想値を上回る見込みです。

また、通期連結業績予想につきましては、通期個別業績予想の修正理由に加え、海外子会社の売上高の増加が見込まれることから、連結、個別ともに通期業績予想を修正するものです。

なお、今回修正後の連結業績予想は、中期経営計画における売上高および営業利益の数値目標を前倒しで達成する水準を見込む内容となっております。

これを受け当社は、中期経営計画の進捗状況および事業環境を踏まえ、今後の目標設定等について検討してまいります。検討内容については、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 配当予想の修正および剰余金の配当について

（1）2027年3月期配当予想

	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
基準日	第2四半期末	期 末	合 計	
前回予想 (2026年4月28日)	39円00銭	39円00銭	78円00銭	40.6%
今回修正予想		42円00銭	84円00銭	40.1%
当期実績	42円00銭			
前期実績(2026年3月期)	36円00銭	36円00銭	72円00銭	47.9%

（2）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年4月28日公表)	前期実績
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	42円00銭	39円00銭	36円00銭
配当総額	2,885百万円		2,472百万円
効力発生日	2026年12月1日		2025年12月1日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

（修正の理由）

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要な施策として位置付けております。

将来に向けた事業展開・成長投資を考慮しながら、業績に応じ連結配当性向40%以上を安定的に利益還元することを基本方針としております。

通期連結業績予想の修正に伴い、上記基本方針のもと、年間配当予想を1株当たり78円から84円（中間配当42円、期末配当42円）に修正いたします。

（注）本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上